

# 週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

&lt;先週の説教から&gt;

『詩編 39 - ああ、人は皆、空しい』

武田真治牧師

詩編 39:1-14 ヨハネ福音書 19:28-30

毎月末に詩編を読み進めています。今日のこの詩編 39 篇については“キリスト者として詩編をどう読むか?”、その読み方を“訓練”してくれる詩編だと言います。それは大きく分けて3つの読み方が必要ではないかと思えます。

最初の読み方としては“共感”です。詩編の中にある言葉や箇所『私もよく分かる!』と感じることです。この詩編では特に5~7節が昔から信仰者の共感を得てきました。即ち「教えてください。主よ、わたしの行く末を。わたしの生涯はどれ程のものか」「御覧ください。与えられたこの生涯は僅か、手の幅ほどのもの」「ああ、人は確かに立っているようでも、すべて空しいもの」です(=作曲家のブラームスもこの数節を「ドイツ・レクイエム」の中で引用しているように)。私たちも思い当たる所があるのではないのでしょうか。

ただ、この詩編全体の内容を見ていくと、必ずしも共感できない部分も出てきます。それが二番目の読み方である“展開”へと向かうことです。この詩人は最初「舌で過ちを犯さぬように、神に逆らう者(=訴える者・サタン)が目の前にいる。わたしの口にくつわをはめておこう」と言います。これは神様への不平や不満の言葉を発して罪を犯さないように、もうしゃべらない、沈黙するという言葉です。この当たりは神様を怖れる旧約の信仰に拠る所で、私たちには馴染まないのでは。しかし、この詩人の人間的な部分は、そのように黙っていても、余りにも病が辛いので「苦しみがつりの、心は内に燃え、舌を動かして話し始めた」と。それが最初の5節からの言葉なのです。だから共感を呼びますね。

ただ、そのように苦しみを外に出したことを彼は「あなたに背いた罪」と感じて、再びもう「わたしは黙し、口を開きません」「あなたの目をわたしからそらしてください」とまた閉じこもってしまうのです。結局、神様を裁き主として恐れる旧約の信仰(=ユダヤ教)に留まるのです。

キリスト教はイエス様という、神様と私たちの間に立って“執り成して下さる”方が与えられており、その方が「なんでも祈ってよい。叫び求めなさい」「大胆に神様に近づきなさい」と言ってくださっているから、愚痴も迷いも申し上げることが出来ます。この詩編 13 節の「主よ、わたしの祈りを聞き、助けを求める叫びに耳を傾けてください。わたしの涙に沈黙しないでください」という祈りは私たちこそ祈ることが出来る言葉だと言いますが、いかがでしょうか?

最後の三番目の読み方は“適応”です。イエス様や教会の在り方との関係でこの詩編を読むことです。イエス様は十字架の上で神様に向かい「わか神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか?」と叫ばれました。あの姿と祈りは私たち人間の究極の“叫びであり祈り”でした。そのように祈り叫んでもよいのだということも示して下さっているのです。

\*\*\*\*\*

## 【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 I. 2月7日(水) 20:00  
II. 2月8日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答  
祈祷主題: 信教の自由を守る2・11集会を覚えて  
担当者: (水) 茨木 (木) 小林  
祈りに覚える人: 保坂さん 細川さん

## 【教勢報告】

主日礼拝 男20 女48 計68  
祈祷会 I. 男7 女3 計10 II. 男2 女7 計9  
日曜学校 幼稚科11 小中科9 計20

## 【次週主日礼拝】 2月11日(日)

聖書: ダニエル書 10:1~15  
ルカによる福音書 1:11~17  
説教: 「ルカ③ 一主の天使が現れる時」  
武田真治 牧師  
讃美歌: 12(1)、32、404(1~3)、548(1~4)、342(1~4)、88(1)

## 【次週当番表】

司式: 金刺長老 奏楽: 須田 礼拝: 齋藤長老  
献金: 阿部 阿部 受付: 鈴木 橋本  
会堂準備: 飯島 岡本 金刺 中村  
森本

看板: 岩佐 週報: 金刺 お花: 茨木

## 【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会  
礼拝後: ・牧師と語る会 ・お茶の会 ・聖歌隊練習  
・壮年/婦人/ダビデ 各会

2024年 2月 4日

日本キリスト教団 上尾合同教会  
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33  
TEL&FAX 048-771-6549  
<http://www.ageo-church.org/>